

- 箱根山噴火リーディング** (2015年7月2日靈示) 担当:石田 2015年9月12日
- 1 噴火に関係する神靈(後に神武靈と判明): 総裁に呼ばれたのではない。とくに、首都圏の人間、死にたいのだろう? 「自分の安全とか、平和とかそういうものが欲しいとは思っていない」「命を捨てたがっている」「マスコミ、世論は死にたがっている」自分は関東を作ったもので、「場所」を貸している。私の“畳”の上に住んでいるのだ。死なせてやろう。
- 2 武士の世は終わった。「潔さ」を失い、「正しさ」を失い、「使命感」を失って、ただこの世にすることのみを望む生物と同じ、人間ではない。小室直樹の靈言「この世の命が一番大切」
- 3 具体的には「戦争」と「天皇制」の問題が大きい。「戦争」に関して、「正義」が立たなくなったら、人間は“人間稼業”を辞めなければならない。「正義」無くば、“侍”は存在できない。“刀”は必要ない。総裁先生の感想:この方が“右翼の大本”だ。(神武天皇は実在した)
- 4 人間宣言をした「天皇」は日本を司るスメラミコトではない、天皇は今居ない。明治維新が終わった、そして次の時代が来ない。明治維新の前の体制に戻したらよい。家康靈言
- 5 国民が押し付けられた憲法を愛している以上、滅びるしかない。ギリシャのように、「かつて東洋に日本という国があった」と言われるようになる。神様にもリストラがある。
- 6 エドガー・ケーシーが五反田に行けと言った。私を「徳川幕府」と呼べ。明治政府以降の歴史を、終わらせようとしている者だ。江戸城の占領は許せない。明治政府を否定する者だ。自決に追い込まれた西郷隆盛としての無念の意識が言わせているのか?
- 7 関東大震災も私が起こした。「次の戦争に備えよ」「木や紙の家では駄目」と教えたが、失敗した。天上界では西郷隆盛が初代の大統領(選挙による征夷大將軍)の計画があつたのか?
- 8 明治以降の西洋化には「不淨」なものが潜んでいる。日露戦争の裏には「人間がつくった神構造」「人工的一神教」という「不純なもの」がある。「釈尊御真骨伝来」の国家的祝賀気分は、203高地陥落の祝賀で薄れた。名古屋では中部の仏教徒が大いに祝賀した。日泰寺・覚王山物語
- 9 明治以降、廢仏毀釈、天皇機関説など、不純なるものが横行。戦後の「天皇人間宣言」で純粹性が崩壊した。崩壊後70年も「不純な構造」を讀えてきた。ここにウソがある。
- 10「廢仏毀釈」「教派神道弾圧」など苦々しく思う。皇族に男子が生まれなかつた裏には、「徳川家・家臣団の呪い」と「無信仰者に弾圧された人の無念」と両方の流れがある。
- 11 日本の信仰は「八百万の神々が大八州を生かしている」というもの。政府の考えに合わないものを弾圧するのは西洋的な邪神の考えが入っている。宗教を弾圧するのに民主主義を使ったのなら、「不淨の流れ」だ。「國家神道」という一神教のような“悪い事”を考えたのが、博文あたりの連中だ、その結果が第二次大戦の敗戦にまで繋がっている。徳川家康の靈言
- 12「天皇のいうことを聞かぬ軍人政治家が暴走して、戦争が起きた。よって天皇には責任が無い」ということが戦後長く続いた(占領政策の)虚偽であった。この虚偽が軍人達の靈言で破られ、本当のことが明らかになりつつある。明治の体制は結局無責任体制をつくり、敗戦に向かわせた。幸福の科学の「憲法試案」は大統領が政治の責任(権力)を持つ体制。
- 13 総裁先生にってきた昭和天皇の言葉:軍人たちの靈言により、「今、自分に責任が集まっている。しかし、人間宣言したので自分は責任が取れない、解決できない悩み」
- 14 現代のマスコミは「視聴率」が神の代替となっている「新しいバアル信仰」である。
- 国民を教育するために、そのマスコミに勝て、勝てば政治は動く。天照(大日靈貴神)の靈言
- 15 国民の心を入れ替える以外に噴火を止める方法は無い。あなた方は、もうそれほど、多くの期待を背負ってはいない。来年の参院選がデッドラインではない、もう結果が読めているから。